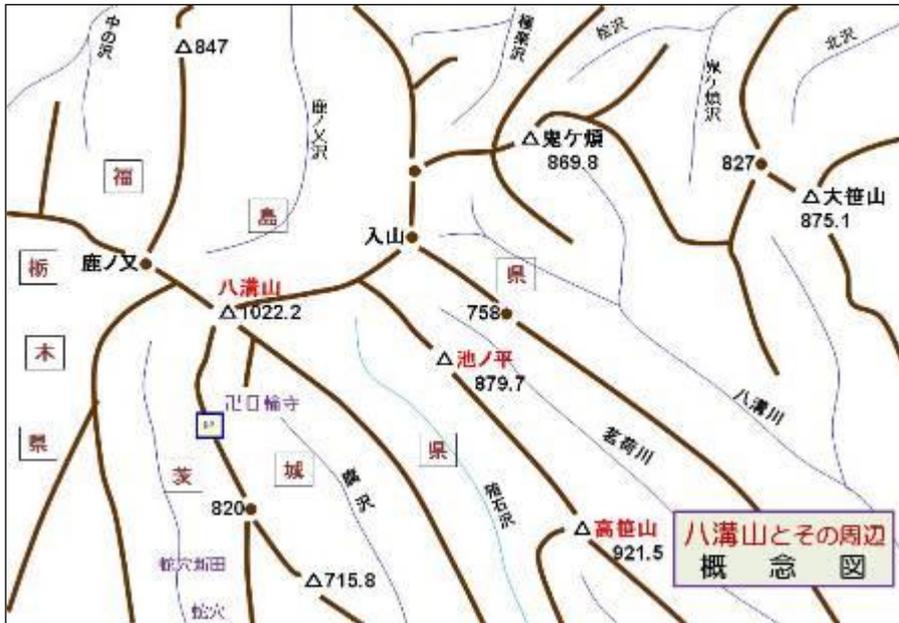


踏み跡 <My Mountains>

茨城(八溝)	八溝山と高笹山	No.294
--------	---------	--------



平成6年9月に八溝山に初めて登った。この時の印象として記憶に残ったのは、その名の如く多くの谷を刻むどっしりした山であることと、南東に長く引いた県境の尾根の先にある池ノ平と高笹山の存在。地図を見ていると、この長い稜線を歩いてみたらどんな気分だろうかと想像のスクリーンが動いてくる。しかし、行きにくい場所にある八溝山のしかも長い稜線を辿るとなるとどんなコースと手段の組み立てになるだろうかとしばし悩んだ。

平成10年10月21日

5時半起床、車で6時15分に家を出発。国道16号線・柏IC経由で那珂ICまで。那珂から国道118号線に入り、常陸大宮で食糧を調達して久慈川を遡り大子へ。八溝山を越えて栃木県に向かう県道八溝那須線に入って蛇穴の旧登山口まで行き、車を駐車。ここから八溝山を登り高笹山まで下って、また戻って来ようというのが今回のプランである。

旧登山口に着いたのが10時05分。雨が降ってきたので雨具を着こんで10時25分に出発。キノコの収穫にも興味があったが、残念ながら全く出ていなかった。唯一出ていたのが巨大な枯れ木にたつぷりと付いたツキヨタケだけだった。金性水で飲料水を確保。八溝は美味しい水が手に入るのだから良い。

八溝山(1022.2m) 11時12分。雨だと言うのに人が多くて煩いので休まずに先へ進むことにした。

林道の終点から右斜面に高笹山への道を示す標識が付いていた。

池ノ平(879.7m) 12時05分、雨の中の静かな山頂は遠望がきく。谷から上がる雲が水墨画のような美しさで、しばし見とれてしまった。座ることもできないので、立ったままで昼食をとった。

立ったままでの昼食は20分間で終了し、高笹山を目指して更に南東方向へ進む。あまり丈の高くないミヤコザサと広葉樹の中の尾根通しの道で気持ちが良い。これで雨でなければ最高のプロムナードなのに。

ゆっくり下って最後に登り返すボリュームがかなり大きい。



高笹山(921.5m) 13時05分。このまま勢いで唐竹久保まで突っ走りたいような気持ちの良い尾根歩きはここが折り返し点。

振り返ると、胸元に雲を抱いて裾野を広げた八溝山がゆったりと座している姿が見えた。(左下写真) 高笹山は雑木林の足元に笹が広がり、まさしく「高い笹山」という風情。(左上写真)

写真を撮っただけですぐにUターン開始。

八溝山 14時50分。雨も気になるので、そのまま登山口まで戻ってから休憩をとることにした。



登山口野駐車場に15時30分帰着。かなり寒く感じる。乾いたものに着替えて、インスタントコーヒーとおやつで温まってから出発。帰路は比較的スムーズで、20時15分に帰宅。お土産は八溝の美味しい水20だけというシンプルな山旅だった。

以上